

# 英語を楽しく

No. 21

24, September

## ☆ 初耳ですが No. 1

古い英語では、疑問文は 主語と動詞を 入れ替えるだけだった。

You love her. なら Love you her? とね。

ところが、「do」が 生まれてから、疑問文は、

Do you + 動詞 ~? になってしまった。

でも、do は助動詞としてでなく一般動詞としても使われるし

I do help her. (わたしが 彼女を助けます。)

のように文を強める役もしています。

なお、do (does) はこんな使い方もできます。

I do piano. I do Jyudo. I do studying.

などなど、だから。言いたい単語がわからなかったら、とにかく do と～でも便利。



## ☆ 初耳ですが No. 2

「play baseball ・ play the piano スポーツは『the』無し、楽器は「the」がつく」と学校では習ったけど、スポーツ (集団であるもの) は『the』無し、これは baseball の場合、野球そのものでなく野球をすることを主眼するから、楽器のときは、楽器そのものを 人が私の楽器として所有するから「the」がつくのです。

以前にも述べましたが、I like piano. は ピアノの楽器を指しているのではなくてピアノを弾くことを指していますので、野球の場合にも同じことが言えるわけです。

なお、スポーツでも個人競技の柔道とか剣道には play は使いませんね。それらは個人ですので practice (実行) を使います。do Jyudo do Kendo とも言います。



## ☆ 初耳ですが No. 3

こんな時は、いきなり「the」

① 話の内容が分かるとき ・ 病室のベッドで友人が

“Please open the window.”

と言ったら” (たいがい病室には窓が一つ) どの窓かわかる。

② 家族の中で、共通して知っていることや物を指すとき

Grandfather said to me,

“Who did the very book tear up?”

「誰が、大切な本を破ったのじゃ？」

とおじいさんが私に訊いた。



正直に  
お話をば  
言ってくれるよ



Yoshi